

完了後の評価個表

整理番号 森14-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	大分県
地区名	日田市	事業実施主体	日田市等
関係市町村	日田市	管理主体	日田市
事業実施期間	H15～H19（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 日田市は、北部九州のほぼ中央、大分県の西部に位置し、岳滅鬼山、三国山、一尺八寸山等標高約1,000mの山系によって周囲を囲まれた地域である。 また、北西部に中津市、東部に玖珠町、北部に福岡県と西部及び南部に熊本県と隣接した地域で、森林資源に恵まれた林業地域である。</p> <p>② 森林の状況 当地区の民有林森林面積は49,708ha、そのうち人工林が40,628haで82%を占めており、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅦ齢級の森林が11,165haで約27%、Ⅷ齢級以上の森林が27,147haで約67%を占めている。 また、地区内の森林のうち、水源かん養保安林が17,630ha、土砂流出防備保安林が2,796haに指定されており、森林の持つ水源かん養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 近年の木材価格の低迷等から適切な森林施業及び資源循環がなされておらず、Ⅷ齢級以上の森林が67%と高齢級の森林が増加し、資源の収穫期となっている。 また、Ⅷ齢級以下の林分は、33%を占めており、適切な間伐等の保育作業をを実施し、公益的機能を高めていく必要がある。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽98ha、下刈4608ha、除・間伐4062ha、枝打ち658ha、作業路17,140m</p> <p>総事業費 1,962,393千円 (当初総事業費 45,975,791千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更や低コスト化及び台風災害等の復旧に伴う森林整備事業を他事業で実施したため、事業採択時に比べ総事業費・総費用が減少となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>51,727,346千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>203,764,441千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>10,153,890千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>45,975,791千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>5.09</td> <td>(事業採択時</td> <td>4.43)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	51,727,346千円	(事業採択時	203,764,441千円)	総費用 (C)	10,153,890千円	(事業採択時	45,975,791千円)	分析結果 (B/C)	5.09	(事業採択時	4.43)
総便益 (B)	51,727,346千円	(事業採択時	203,764,441千円)										
総費用 (C)	10,153,890千円	(事業採択時	45,975,791千円)										
分析結果 (B/C)	5.09	(事業採択時	4.43)										

② 事業効果の発現状況	<p>本事業で植栽等の森林整備により、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により整備された森林は、一部にシカによる食害等が発生したが、幼齢木については防護柵等を設置するなど、継続して管理されており、良好な管理状況にある。 また、保育間伐の推進により、適正な森林整備が継続して実施されている。</p>
---------------------	--

④ 事業実施による環境の変化	<p>間伐等の森林整備が実施され林内の明るい単層林や針広混交林が整備され、下層植生も回復し、土砂の流出の防止と森林の景観が向上してきている。</p>
----------------	--

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本事業が実施されたことにより、間伐等の森林整備が進められ、未整備森林の解消が進み、森林が持つ水源涵養及び土砂流出防備機能等の公益的機能の回復が図られた。 さらに、地球温暖化防止のため、二酸化炭素吸収にも期待されている。</p>
-------------	--

⑥ 今後の課題等	<p>森林施業の実施により、適正に管理されている森林が増進されてきているが、木材価格の低迷等により森林の高齢級化が進んでいる状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、搬出間伐の実施や主伐後の適切な再造林を促進する必要がある。 さらに、地球温暖化防止のため、二酸化炭素吸収にも期待されている。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(大分県) ・ 本事業により、健全な森林を育成するための森林整備を推進された。(日田市)
----------	--

整理番号 | 森14-2

評価結果

- ・必要性： 地元の意見にも見られるとおり、当事業の施工後は、土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されていることから必要性が認められる。
- ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。
- ・有効性： 地域の森林の整備が進み、その後も引き続き森林の整備が行われ、水源涵養や山地保全などの公益的機能の維持増進が図られていることから、有効な事業であったと認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:大分県

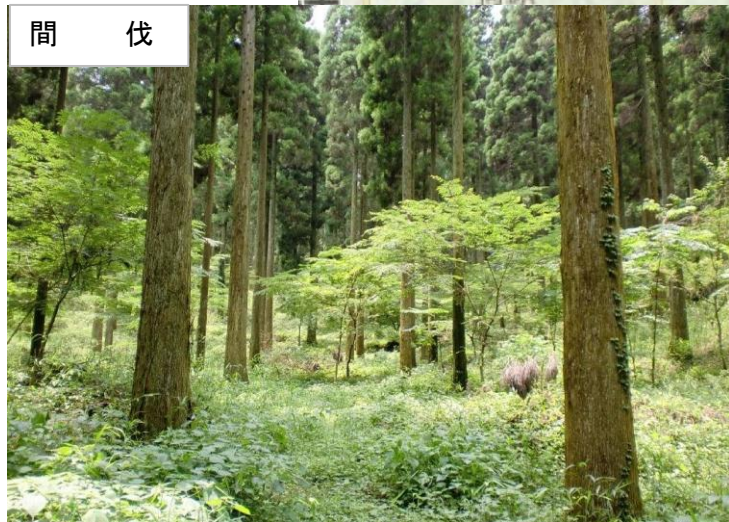
地域(地区)名:日田市^{ひたし}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	9,403,605	
	流域貯水便益	2,726,196	
	水質浄化便益	5,681,970	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,465,431	
	土砂崩壊防止便益	91,371	
環境保全便益	炭素固定便益	15,722,557	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	8,636,216	
総 便 益 (B)		51,727,346	
総 費 用 (C)		10,153,890	
費用便益比	$B \div C = \frac{51,727,346}{10,153,890} = 5.09$		

森林環境保全整備事業 日田市(大分県)

間伐



下刈り



作業路



凡 例	
計画区界	— (Red solid line)
事業区域	- - - (Blue dashed line)
森林整備	— (Yellow solid line)
林業専用道等整備	○ (Orange circle)

